

回覧

令和6年6月26日

各位

龍江地域づくり委員会

飯田市工業課の主催により5月30日に1区、2区居住者、5月31日に3区、4区の居住者を対象にした「龍江インター産業団地における木材加工業の計画」の地元説明会が開催されました。

両日の参加者から出された意見や要望等について、当日回答された内容を含め、以下に紹介します。

尚、龍江地域づくり委員会としては、この説明会で住民から出た質疑内容を考察し、大きな問題は無いと判断しました。地区としても少子高齢化が進む現状を鑑み、龍江地区内の森林整備や再生などに期待がもてるため進める方向で考えています。

Q. 居住地から500mの距離であり騒音が心配である。

A. 現地視察を地域づくり委員会で行ったが、問題のないレベルであった。

Q. 調整池の雨量計算は平面のみでなく立体的に見てほしい。

A. 壁面も計算に入れている。容量的には余裕を持たせている。

Q. 雇用の規模はどのくらいか。

A. 開始時点は1~2名程度であるが、事業が軌道に乗ってくれば雇用人数が5~10人程度増えると思われる。

Q. 木の受け入れについてはどうか

A. リンゴの剪定枝の受け入れを考えているが産廃の問題があり今後検討したい。

Q. 本格運用はいつ頃からとなるか

A. 6、7月に仮契約、9月議会の承認を経て本契約となる。10月に土地の引き渡しを予定。運用は順次。

Q. エプソンのバイオマス発電との関係を説明してほしい。

A. エプソンは独自で燃料調達を計画している。エプソンから協力の依頼は来ていないが、あれば検討したい。

Q. 龍江の木材を利用しますか？

A. 森林組合から調達を考えていますが、伐採作業の人材確保が課題。綿半としても前向きに検討していく。

Q. 森林組合でも同様の事業をしているが競合しないのか？

A. 森林組合の設備が老朽化しているので、伐採運搬を森林組合が担い、加工は綿半が行うなどを検討中。

綿半として龍江地区の森の再生事業を行ない、その分野の人材育成を積極的に進めて欲しい。

Q. 木材資源の総量は、どの位なのでしょうか？

A. 全体量はわかりませんが、三遠南信自動車開通により、静岡県などの近隣からの調達、また供給も考えている。

Q. 当面チップは野積みによる保管と説明がありましたが、雨による腐敗などは大丈夫でしょうか？雨除けなどを検討して欲しい。

A. 長期にわたることなく、短期間に処理するため影響はない。

Q. 騒音について、数値で示して欲しい。

A. 現段階でお示しできないが、実施する中で検討していく。

Q. 現場見学会を地区民に対して、事前に企画して欲しい。

A. 申し出あれば、実施を検討します。

伐採後の植林について。花粉症対策可能な苗の植林を考えており、県の補助がある。

龍江地域づくり委員会事務局
(龍江自治振興センター内)
電話 27-3004